

BERCニュース

BERC年次総会(第12回)開く

活動報告、決算案など承認

経営倫理実践研究センター(BERC)第12回
会員年次総会が6月29日(月)、海事センタービル
で開かれた。総会では、平成20年度の活動報告、
同決算・監査報告と、平成21年度の活動計画、同
予算案、BERC法人化に関する議案が議論され、
いずれも原案通り承認された。

昨年度の活動状況報告。さらに、他社の経営倫
理では、6月10日と12月5日 理事実践状況について
の年2回、理事会を開催 の場として14の部会・研究
した。平成20年6月26 会および分科会を月次の活
日の会員企業年次総会、B 動として行ったことなどを
EOC(会員企業経営倫 報告した。
理最高責任者会議)会合、 また、「経営倫理・短期
第11回国際シンポジウムの 集中講座」の東京と関西で
開催について概要を報告し の実施結果、「公益通報者

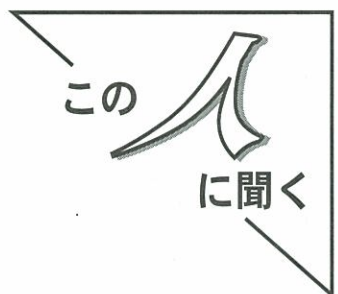


第12回年次総会であいさつする
福原義春理事長(左中央)

研究所との共
催でのCSR
シンポジウムの
開催などを説明
した。
続いて、個別
企業等への対
応やその他の活
動として日本経
営倫理士協会
の資格取得講
座への講師参
加、PHP出版
版による「実
践!コンプライアンス」な
どの出版物も手掛けている

こと報告した。
続く平成20年度決算で
は、収支計算書と貸借対照
表について説明、監査報告
があった。
平成21年度活動計画案
では、BERCの一般社団
法人化について、①本年度
上期中に、一般社団法人経
営倫理実践研究センターを
設立する②上半期中に資産
の移管、会員の名義切り替
え等の移行手続きを完了す
る③一般社団法人としての
運営課題に取り組みため、
理事会の機能強化、企画・

保護制度等の時局セミナ
ー」、早稲田大学企業倫理



ように考えますか。
わが社は企業倫理につい
て幅広く理解しており、企
業倫理をCSRと考えてい
ます。CSRについてはい
ろいろな考え方がありますが、
03年に経済同友会が、

SHISEIDO WAY(企業行
動宣言)、THE SHISEIDO
CODE(企業倫理・行動基
準)があります。これらを
社員一人ひとりがしっかり
実践することが、企業理念
である「美しい生活文化の

品をお届けするために、世
界最高レベルの品質をめざ
しています。その中で安全
は最低限の決まりごとであ
り、THE SHISEIDO CO.
に販売会社や工場があるの
で、海外連結対象子会社
についてTHE SHISEIDO

は、実にしっかりとやって
います。もっと外にPRして
も良いと思うほどです。資
生堂ウエイ、資生堂コー
ド、コード・リーダーなど
は着実に実践しています。
隠徳という言葉もあります
が、良いことは外に発表し
ていくべきでしょう。社会
貢献活動にも力を入れてい
ます。がん治療や肌にあざ
があるなど、肌にお悩みを
お持ちの方を対象にしたプ
ログラムを準備し活動して
います。国内だけでなく上
海や台北、高雄でも活動を
しています。現在の経済情
勢下で資生堂も減益減収
です。社会貢献活動は、無
駄な費用は極力削っていき
ますが、できるだけ続けた
いと思います。

は、実際にしっかりとやって
います。もっと外にPRして
も良いと思うほどです。資
生堂ウエイ、資生堂コー
ド、コード・リーダーなど
は着実に実践しています。
隠徳という言葉もあります
が、良いことは外に発表し
ていくべきでしょう。社会
貢献活動にも力を入れてい
ます。がん治療や肌にあざ
があるなど、肌にお悩みを
お持ちの方を対象にしたプ
ログラムを準備し活動して
います。国内だけでなく上
海や台北、高雄でも活動を
しています。現在の経済情
勢下で資生堂も減益減収
です。社会貢献活動は、無
駄な費用は極力削っていき
ますが、できるだけ続けた
いと思います。

資生堂コード、確実に実践

代表取締役副社長 岩田喜美枝さん

資生堂は福原義春名
誉会長が熱心に経営倫理
実践研究センター(BE
RC)の活動を支援して
きました。岩田さんとし
ては、企業倫理についてど
いわた・きみえ

香川県出身。東京大学教養
学部卒業。71年4月に労働
省入省。働く女性の支援や
国際労働問題を担当する。
03年3月に退官。同年4月
に資生堂入社。取締役執行
役員、取締役常務を経て08
年6月から代表取締役副社
長。62歳。

すべてのステーク・ホルダ
ーを視野に入れて、幅広い
分野での社会のニーズの変
化を捉え、それをいち早く
価値・市場創造に結び付
け、経済活性化を目指す取
り組みと定義しています。
資生堂には企業理念・THI

創造」を実践することにな
ります。
化粧用品は直接肌に触
れるものと思います。安全、
安心にはかなり気を使っ
ていでしょう。
CSRレポートに書いて
いますが、安心して安全な商

THE SHISEIDO CODE
CODEの各国語版を作成
は、さまざまな雇用形態で
働く社員全員で実践してい
ます。国内の職場にはコー
ドリーダーが配置され、コ
ードを定着させる活動をし
ています。企業倫理研修は
毎年実施しています。

は、実際にしっかりとやって
います。もっと外にPRして
も良いと思うほどです。資
生堂ウエイ、資生堂コー
ド、コード・リーダーなど
は着実に実践しています。
隠徳という言葉もあります
が、良いことは外に発表し
ていくべきでしょう。社会
貢献活動にも力を入れてい
ます。がん治療や肌にあざ
があるなど、肌にお悩みを
お持ちの方を対象にしたプ
ログラムを準備し活動して
います。国内だけでなく上
海や台北、高雄でも活動を
しています。現在の経済情
勢下で資生堂も減益減収
です。社会貢献活動は、無
駄な費用は極力削っていき
ますが、できるだけ続けた
いと思います。

34号の紙面



- 2面 「BERC短期集中講座」 偽装
3面 「水谷雅一氏おご献花式」
5面 「問われる信頼・公認会計士」上場話で資産家だます
4面 「新型インフル ガイド」
6面 「社会貢献活動の現場から」
「地球交差点」読んだら老けないコラム
写真 「経営倫理士講座」ニュース
ライオンに「事後対応」も「経営倫理 我社の取り組み」「相次ぐ食品

BERCが短期集中講座

内部監査やパワハラテーマに

東電・長濱氏らが事例報告

BERC(経営倫理実践研究センター)主催による「第13期経営倫理・短期集中講座」が、5月14日、15日の2日間、開かれた。

萩原誠BERC専任講師から解説があった。不祥事統発の背景について不祥事年表を参照して説明した。リスクマネジメントが重要になった理由、リスクマネジメントのPDCAサイクル、ダメージコントロール、不祥事広報の失敗などについて述べた。企業のリスク要因のチェックリストも配布した。

午後から、「CSRの本質」基礎知識と国際規格の最新動向」のテーマで、田中宏司BERC先任研究員が、講義を担当した。CSRの基礎知識、国際規格(ISO26000)の最新動向について、解説した。コンプライアンス経営とCSR経営の統合も説明し、「CSR実

践ロードマップ」作成のすめ、CSR関連の各種ガイドラインについても紹介した。

1日目の締めくくりは、オムロンSSBカンパニーコンプライアンス部長・大谷秀幸氏が、自社の企業事例を発表した。現場の視点から、取り組みの見直しを行い、経営理念の「浸透」から現場の「体質化」への転換を行っていることなどを報告した。

2日目は、まず、BERCフェロー・桑山三恵子氏が、「ワーク・ライフ・バランス」について、そのメリットなどを解説した。続いて、BERC主任研究員・吉田邦雄氏が、「内部監査」今、なぜ内部監査が重要か?」について

と題し、リスク評価などを分りやすく整理して説明した。

その後、BERC専任講師・星野邦夫氏が「パワーハラスメント防止のためのマネジメント」について述べた。企業がパワハラ問題に気付いていても対応には苦慮している点、原因、人材の流出やメンタルヘルス上の問題といった有害性を解説した。

ステークホルダーと信頼形成へ

CSR部会で井上氏が講演

BERCのCSR部会が6月24日、南青山会館で開かれた。講師は、BERCフェローの井上昌美氏。「CSRコミュニケーション」SRについて討論した。

井上氏は、「コミュニケーションとは、送り手が相手の行動を変えようとする意図を持って、ある考えを受け手に伝達する過程」と話した。CSRの特徴は、社会やステークホルダーとともに変化することであることを説明、社会のニーズと合致するようである、充足できていない場合をコミュニケーションで認識することが重要だと説明した。

さらに、CSRコミュニケーションの戦略などについても述べた。ステークホルダーを階層視点で分類することやステークホルダーによるCSRコミュニケーションの評価では、評価原点(評価者によるベースライン)は、上昇することはあっても、下降することはないと語り、ステークホルダーの評価原点を意識・確認し、その「移動スライド」に対応できるシステムの構築が必要だと強調した。

おける企業倫理の実践とその制度化について」の事例発表が、東京電力(株)総務部企業倫理グループマネージャー・長濱明彦氏(写真)からあった。企業倫理定着化に向けた取り組みの経緯と全体像、その方向性・基準の明示などについて説明した。「人と技術の育てる」ことが、企業倫理の推進において、特に大切だと強調した。

09年5月度のRC監査研究部会が27日(水)に東京・島根インで開かれ、講演が行われた。

の内部監査―監査体制と実践活動―」についての講演が行われた。

内部監査部門の出席者が多い

大野、真田氏を講師に迎え 5月・6月の監査部会

「三様監査の連携」など質疑

講演では、大阪ガスの監査テーマを紹介した後、内部統制監査の一連の流れを「基本的な考え方」から「事前調査と監査設計」、「往査と事実確認」、「内部統制評価と結果報告」、「改善フォロー」まで具体的な事例を交えて解説した。

大阪ガスの進んだ内部監査事例が聞けるとあって、当日は50人以上の参加があり、皆熱心に耳を傾け、盛況のうち終わった。

「ISO26000」に対応

CSRハンドブック刊行へ

経営倫理実践研究センターと日本経営倫理学会がISO26000に対応するために、「ハンドブック」はISO26000で現在議論されている7つの中核主題を扱う。7つの分野ごとに、日本の優良企業の51の実践事例を収集した(実践事例では、BERC会員社から多くの資料提供を受けている)。

また本書はBERCと経営倫理学会による初のコラボレーション。「CSRハンドブック」の構成は、「第1部 CSRの基本」「第2部 企業におけるCSRの実践」「第3部 用語解説」となっており、学会が1部と3部を、BERCが2部を主に担当した。



④短期集中講座で事例発表する長濱明彦氏⑤CSR部会でステークホルダーとの信頼関係形成について語る井上昌美氏

BERCの活動(2009年月5-6月)

5月11日	ケース部会(ベシック)
12日	リスクマネジメント研究会
13日	BERC関西部会
14日	東京・短期集中講座
15日	ケース部会(アドバンス)
18日	倫理プログラム部会
19日	BEO昼食懇話会
20日	「パワハラ研究」分科会
21日	「戦略的CSR戦略」分科会
22日	「ヘルプライン実務者」分科会
26日	監査部会
27日	CSR部会
28日	ワーク・ライフ・バランス分科会
6月8日	ケース部会(ベシック)
9日	リスクマネジメント部会
15日	ケース部会(アドバンス)
17日	監査部会
18日	パワハラ分科会
19日	実学的CSR研究会
23日	BERC理事会「ヘルプライン実務者」分科会
24日	CSR部会
25日	ワーク・ライフ・バランス部会
29日	BERC総会
30日	倫理プログラム部会

ガイドラインに「事後対応」も

新型インフル「フェーズ6」

世界保健機構(WHO)の可能性が小さく、豚食品へのマールレット・チャン事務局長は6月11日、新型インフルエンザについて「フェーズ6(世界的流行)」を宣言した。「鳥」ばかりを警戒していたが、今回のインフルエンザの感染爆発源は「豚」だった。しかし現在、多くのメディアは「豚インフルエンザ」という語を使っていない。豚-ヒト感染の

可能性が小さく、豚食品への風評被害、宗教・文化上の背景を考慮してとのことだ(本紙も「新型インフルエンザ」と表現する)。

その新型インフルの拡がりについてだが、WHOの報道発表によると6月26日現在、全世界の感染者は5万9814人(死者263)、日本国内では1037人(1カ月前の5月29日時点では全世界で感染者1万5510人、日本国内では359人であった)。

もともと、季節性インフルと比較してみると今回のインフルエンザは弱毒性とされ、マスコミの報道は少々過熱気味であることも否めない。しかし、弱毒性であっても感染を繰り返すことで、強毒性に変異する危険もありうる。企業社会

にとっても重大関心事だ。パンデミック警戒レベルは359人であった。 「フェーズ3」状態であった。今年、メキシコで多くの新型インフルエンザ感染者が発生し、死に至るケースもあらわれた。4月27日、WHOはパンデミック警戒フェーズを「3」から「4」に引き上げ、その2日後の29日、警戒フェーズを「5」に引き上げた。「フェーズ5」とは「1つのWHO管区において、同種のウイルスが2つ以上の国・地域でコミュニティ規模の継続したアウトブレイクを引き起こしている」状態である。当時、警戒レベルの最終的な決定権を持つチャンWHO事務局長は「従来の警戒レベルの判断基準を修正して(具体的には今回のインフルエンザが弱毒性であることを考慮して)、柔軟な対応をとっている」と指摘した。

こうした事情で、しばらく「フェーズ6」への引き上げは見送られてきたが、この度引き上げが決定された。

「ポスト・ピーク期」再発の可能性がある時期「ポスト・パンデミック期」に分類したこと。仮に「フェーズ6」最終が宣言されたとしても油断はできない。現在の新型インフル問題は「終わり」ではなく「始まり」と認識する必要があり。スペイン風邪、香港風邪など過去のパンデミック

「ポスト・ピーク期」再発の可能性がある時期「ポスト・パンデミック期」に分類したこと。仮に「フェーズ6」最終が宣言されたとしても油断はできない。現在の新型インフル問題は「終わり」ではなく「始まり」と認識する必要があり。スペイン風邪、香港風邪など過去のパンデミック

は数カ月で終わるものではなく、1年強の期間をかけた大規模感染に至った。来冬・来年以降も引き続き警戒が必要だ。加えて、強毒性と推測される本命の「鳥」にも警戒しなければならぬ。

一方、企業サイドでも今回の新型インフルの一件で分かったこともある。事業

したとして不正競争防止法違反(誤認惹起)の疑いで逮捕した。この取締役は中国産ウナギのかば焼き3000パックに「鹿児島県産」と書かれたシールを張っており、都内の卸業者に販売した。また、同取締役は約3年前から東京・築地市場

この取締役の食品加工会社は05年2月から民事再生手続き中であり、資金欲しさにかうした偽装に走ったものとみられる。

食品偽装は全国各地で発生している。中国産では安く買いたたかれてしまうことから、国産に変えて販売するのだから。業者としては中国産のギョーザ事件のように人体に害が出るわけではないために罪の意識が薄いようだ。

また、地方自治体がこの問題についての指導が甘いのではないか、という見方も出ている。中国産のアサリを千葉県富津市の業者が熊本産と偽って販売したケースは「九州の業者がアサリの表示を偽装して流している」という情報が寄せられて、農林水産省と千葉県が調査を開始した。この結果偽装が分かったが、千葉県は行政指導にとどめた。このため、農林水産省は千葉県に対して日本農林規格法に基づく指示や公表を求めている。同県安全農業推進課によると容疑者は偽装を認めたものの伝票を処分するなどして調査に協力的でないことから、千葉県警が強制捜査に踏み切ったという。

インタビュー

経営倫理 我社の取組み ⑱



CSR推進室課長

呉羽 保紀さん

NTT総務部門CSR推進室担当課長・呉羽保紀さんは、「NTTでは、グループ共通の事業領域である情報通信インフラの構築・運用で、どのよ

うに社会に貢献できるかを常に考えています。グループ各社の副社長ら9人によるCSRについての座談会を開催、これを昨年度のCSRレポートに掲

載しました。その時、確認したテーマが「グループ丸とあってCSR活動に取組む」ということです。座談会にあたっては、各社にそれぞれのスタンスや主張があり、まとめるのに苦労しました。

「グループを超えて取り組むべきCSRテーマとして、ピクアス社会の実現を目指すことは、それ自体、大きな社会貢献になるという。たとえば、NTTドコモでは、自動販売機の在庫管理など「FOMAユビキタスモジュール」を利用した遠隔での監視・制御系のソリューションがある。

「このサービスを自動販売機の遠隔在庫管理に導入すると、在庫状況が常

幅広い社会貢献活動 情報通信技術の有効活用

「地球環境問題」への対応があります。これにはICT(情報通信技術)の有効活用」と「事業活動」の2つの観点があります。前者は、社会全体の生産性やエネルギー効率を高めること。後者は、私達の事業活動に伴う環境負荷をいかに低減していくかという

な社会貢献になるという。たとえば、NTTドコモでは、自動販売機の在庫管理など「FOMAユビキタスモジュール」を利用した遠隔での監視・制御系のソリューションがある。

「社会貢献活動については、電電公社時代からの伝統として地域とのコミユニケーションを大切にしている。地域ぐるみのおつきあいが、地域への恩返しとして根強く残っている。この地域への恩返しは社会貢献以前のものとして自然な形で取り組む社員が多い。昨年は10月23日の電電記念日に5万人を超す社員とその家族が清掃活動のボランティアに参加しました」という。スケールの大きい、貢献活動だ。

「ポスト・ピーク期」再発の可能性がある時期「ポスト・パンデミック期」に分類したこと。仮に「フェーズ6」最終が宣言されたとしても油断はできない。現在の新型インフル問題は「終わり」ではなく「始まり」と認識する必要があり。スペイン風邪、香港風邪など過去のパンデミック

「社会貢献活動については、電電公社時代からの伝統として地域とのコミユニケーションを大切にしている。地域ぐるみのおつきあいが、地域への恩返しとして根強く残っている。この地域への恩返しは社会貢献以前のものとして自然な形で取り組む社員が多い。昨年は10月23日の電電記念日に5万人を超す社員とその家族が清掃活動のボランティアに参加しました」という。スケールの大きい、貢献活動だ。

「社会貢献活動については、電電公社時代からの伝統として地域とのコミユニケーションを大切にしている。地域ぐるみのおつきあいが、地域への恩返しとして根強く残っている。この地域への恩返しは社会貢献以前のものとして自然な形で取り組む社員が多い。昨年は10月23日の電電記念日に5万人を超す社員とその家族が清掃活動のボランティアに参加しました」という。スケールの大きい、貢献活動だ。

相次ぐ食品偽装

業者の意識 少ない

「社会貢献活動については、電電公社時代からの伝統として地域とのコミユニケーションを大切にしている。地域ぐるみのおつきあいが、地域への恩返しとして根強く残っている。この地域への恩返しは社会貢献以前のものとして自然な形で取り組む社員が多い。昨年は10月23日の電電記念日に5万人を超す社員とその家族が清掃活動のボランティアに参加しました」という。スケールの大きい、貢献活動だ。

また、地方自治体がこの問題についての指導が甘いのではないか、という見方も出ている。中国産のアサリを千葉県富津市の業者が熊本産と偽って販売したケースは「九州の業者がアサリの表示を偽装して流している」という情報が寄せられて、農林水産省と千葉県が調査を開始した。この結果偽装が分かったが、千葉県は行政指導にとどめた。このため、農林水産省は千葉県に対して日本農林規格法に基づく指示や公表を求めている。同県安全農業推進課によると容疑者は偽装を認めたものの伝票を処分するなどして調査に協力的でないことから、千葉県警が強制捜査に踏み切ったという。

献花台に花を手向け、合掌する参列者ら



水谷雅一氏偲ぶ「献花式」

荘厳な雰囲気の中 250人が最後の別れ

国際文化会館(東京都港区六本木)で5月20日、水谷雅一氏を偲ぶ「献花式」が行われた。BERC、日本経営倫理学会、日本経営倫理士協会による共催。

新型インフルエンザ流行で(出張制限により)参加を見送った会員社もあったが、約250人が参列した。

中央祭壇には花輪に囲まれた水谷氏の遺影が飾られた。参列者はカーネーションの花を祭壇に手向け静かに合掌した。会場にはバッハのカンタータが流れ、終始荘厳な雰囲気の中で行

われた。会場の一隅には水谷氏が創設した3組織に關連する写真コーナーが設置され、参列者の関心を集めていた。写真コーナーの最後には神奈川大学教授時代の写真や水谷氏の家族の写真なども展示された。献花式には3組織の関係者を始め、小中学校時代の

の友人、古河電工時代の同僚ら、神奈川大学の水谷ゼミの卒業生が訪れ、会場外のロビーでは懇談が続いた。

20年度活動報告など承認

経営倫理学会が年次総会

日本経営倫理学会(小林俊治会長)の平成21年度年次総会が、6月6日、中央大学で開催された。

総会では、①平成20年度の学会活動報告②同年度の学会決算報告③会計監査報告④平成21年度の学会活動計画⑤同年度の予算⑥日本経営倫理学会会則の改定⑦理事・監事改選が審議され、いずれも承認された。

前年度の学会活動として「経営倫理と利益」を統一論題に第16回研究発表大会(08年10月25日、慶應義塾大学日吉キャンパス)を開催した。総会后、「創造と

蟻生・尾身氏の 共著に優秀賞

佳作賞に、長谷川直哉氏(山梨大学大学院准教授)の「グローバル経済下の経営倫理―株主至上主義と公益資本主義の相克」

経営倫理学会が主催する第4回経営倫理論文の表彰がこのほど行われた。

今回の統一テーマは「グローバル経済下の経営倫理」。優秀論文賞は蟻生俊夫氏(財団法人電力中央研究所社会経済研究所 上席研究員)と尾身祐介氏(同研究所特別契約研究員)による共著論文「グローバル経済下の経営倫理―欧州・北米グローバル企業におけるCSR動向とパフォー

マンスの関連分析」。

の該当論文はなかった。

「経営倫理士」講座二ニュース

第13期 経営倫理士講座が開講

第13期経営倫理士講座が5月18日に、青山・石山記念ホールで開講した。

故水谷雅一氏の遺志を継いだ辛島睦・日本経営倫理士協会(ACBEE JAPAN)新理事長が開講の挨拶をした。

経営倫理は、理論と実践の連携が重要であること、経営倫理士間の横のつながりを大切にしてもらいたいなどと述べた。また、経営倫理士協会のNPO法人化を申請中であることも報告した。

引き続き、千賀瑛一・A

経営価値4原理 システムの本質

小林俊治

第13期第2回経営倫理士講座が、5月25日に東京のダイヤモンド社・石山記念ホールで行われた。早稲田大学商学部教授で日本経営倫理学会会長・小林俊治氏が、「水谷雅一先生の『経営価値4原理システム』の本質」と題し、

講義した。

第13期第3回経営倫理士講座が、6月1日に開かれ、ポーラ・オルビスホ

今、なぜ内部 監査が必要か

吉田邦雄

と「応用倫理学としての経営倫理学」をあげた。

さらに、企業が効率と利益のみを追求する効率性原理と競争性原理の2原理主義から、人間性原理と社会性原理も交えた4原理主義へと転換する必要性を訴えた。

パワハラの実態と企業

岡田康子

6月8日に行われた。講師は、「パワー・ハラスメント」という言葉を作り出した岡田康子氏。テーマは、「パワー・ハラスメントの実態と企業の対策」。

パワー・ハラスメントの定義は、「職権、地位などのパワーを背景にして、本来の業務の適正な範囲を超えて、継続的に、人格や尊厳を侵害する言動を行い、就労者の働く環境を悪化させる、あるいは雇用不安を与えること」と述べた。

また、パワハラ問題がもたらす企業リスクについては、生活者に密着した消費財を扱う企業などでは、そのブランド力にも甚大な影響が及ぶなど、取り組みの大切さについて話した。

女性と労働と 人権テーマに

堀内光子

第13期第5回経営倫理士講座が、6月15日に、「女性と労働と人権」のテーマで開かれた。講師は、元ILO事務局長補・堀内光子文政学院大学大学院客員教授。

世界経済フォーラム(ダボス会議)で発表される「ジェンダーギャップ指数」について、国の競争力との強い相関を示すものだが、政策決定者にジェンダー平等を国の優先事項に組み入れるべきだという明確なメッセージであると解説。



経営倫理士講座開講式の後、一人ひとり立って自己紹介する受講生たち

「経営倫理士」講座二ニュース

問われる信頼 公認会計士

「粉飾決算」関与の不祥事も

市場の健全発展に影落とす

視点

企業会計の監査などに携わる公認会計士や監査法人の不祥事が後を絶たない。ことし5月に明らかになった工作機械メーカー(新潟県長岡市)の粉飾決算事件では、同社の会計監査を担当した公認会計士が、架空売り上げを計上するなどの粉飾の手法を同社経営陣に提案していたとされる悪質さだ。健全な企業会計は資本市場の健全なる発展を支えている」との自負を持つてほしい。世の中が監査法人の信頼性を企業会計の健全さに厳しい目を向け始めたのは、「カネボウ粉飾事件」が契機だったこと。監査法人への向に導く立場のエリート層

企業不祥事等の概要 (2009年5~6月)

(表は主要5紙を参考)

すかいーく	5月13日	契約社員として店長を勤めていた前沢隆之さんが07年10月に過労死した問題で、正社員の年収から算出した損害賠償を支払うことで遺族と合意。
グッドウィル	5月13日	保険料などの名目で給与から不透明に天引きされたとして、日雇い派遣労働者26人が、昨年7月廃業した同社に天引き分計455万円の返還を求めた訴訟の和解が東京地裁で成立。提訴時の請求金額を上回る金額が払われるという。
三菱UFJ証券	5月20日	システム部元部長代理による顧客情報流出問題に関し、被害者全員に1人あたり1万円の慰謝料を商品券で支払うと発表。支払い総額は計5億円に。警視庁は6月25日、久保英明容疑者を不正アクセス禁止法違反と窃盗の疑いで逮捕。
不動産会社「コシ・トラスト」	5月21日	三井住友銀行が同社などに融資した多額の貸付金に焦げ付きが発生している問題で、警視庁捜査2課は改ざんした決算書類を使い同行から融資金をだまし取ったとして、中林明久社長ら6人を詐欺容疑で逮捕。
読売新聞	5月22日	読売新聞大阪本社の記事が中国新聞(広島市)のプロ野球コラムと酷似した記事を執筆。同社は盗用と認め、中国新聞社に謝罪した。
NTTドコモ	5月25日	22日に発売した携帯端末「PRIME series P-07A」でソフトウェアの不具合により、iモードの接続時に正しく動作しない場合があるとして、販売を一時見合わせると発表した。
学校法人駿河台学園	5月31日	東京国税局の税務調査で、5年間に約12億円の申告漏れがあると指摘された。専修学校や各種学校の認可を得ていない一部の予備校でも授業料を非課税扱いしていた。
商工ローン大手SFCG(旧商工ファンド)	6月2日	2月に経営破綻する直前、子会社に株や債権などの財産を無償で譲渡したとして、東京地裁は破産管財人が子会社に申し立てた約300億円の請求を認める決定を下した。
植林事業のマルチ商法会社「スタイルックエンタープライズ」	6月8日	「地球環境によく、育てた苗を売れば必ずもうかる」と宣伝して、無届けでキリの苗木などを販売。警視庁は金融商品取引法違反(無登録営業)の疑いで本社など10カ所を家宅捜索。
日本航空	6月8日	関西国際空港発の653便が台湾・台北空港に着陸する直前に客室内座席から出火し緊急着陸。付近にあったライターが誤作動したもよう。「当初公表しなかったのは判断ミス」という。
イー・マーケティング	6月10日	うその上場話を持ちかけ、未公開株を販売した詐欺容疑で、兵庫県警が臼井弘文社長ら6人を逮捕。
印鑑販売会社「新世」	6月11日	姓名鑑定で不安をあまり高額な印鑑を販売したとして、警視庁公安部が特定商取引法違反(威迫・困惑)の疑いで田中尚樹社長ら7人を逮捕。
厚生労働省	6月14日	自称・障害者団体「凜の会」を郵便割引制度の適用団体と認める証明書を偽造したとして、大阪地検特捜部は村木厚子厚生労働省雇用均等・児童家庭局長を逮捕。
農林水産省	6月19日	コメや麦の在庫のデータを実際に調べたように捏造し虚偽報告をしていた調査担当職員計10人を、懲戒処分にしたと発表。
セブンイレブン・ジャパン	6月22日	消費期限の迫った弁当などを加盟店が値引き販売するのを不当に制限するのは独禁法違反(優越的地位の乱用)に当たると、公正取引委員会が排除措置命令。
国土交通省	6月23日	公用車の管理業務の入札を巡り、公正取引委員会は一部の地方機関の職員が請負業者の談合に関わっていたとして、官製談合防止法に基づき改善措置要求。
ナスダック	6月29日	バーナード・マドフ元会長による巨額投資詐欺事件で、投資家から巨額の資金を集め、別の投資家への配当や払い戻しなどに充て、私的にも流用。ニューヨーク連邦地裁は禁固15年の判決。
昭和シェル石油	6月29日	女性社員らと遺族計13人が女性であることを理由に賃金差別を受けたとして、差額賃金など計5億5千万円の支払いを求めた訴訟で、東京地裁が計4945万円を支払うよう命じた。

までがカネの亡者になってしまったのか」との批判が再び高まっている。上場企業絡みの会計不祥事が相次いで発覚したことを受け、企業内部に不正を防止する仕組みを構築する必要があり、証券取引法などを抜本改正した金融商品取引法の一部(「SOX法」)で内部統制制度

導入が義務づけられた。上場企業の経営者は年度末に内部統制が有効に機能しているかを評価し、監査法人の検査を受けた上で報告書を提出しなければならぬ。メディアは「決算書の信頼性が高まり、投資家保護にもつながる」と期待するが、企業側からは「膨大な手間や費用がかかり、仕事の効

率が低下した」との不満の声が漏れる。一方で監査法人は内部統制制度や四半期報告制度の開始に伴い業務量が増大し、多くが増収を達成した。会計業界に詳しい経済評論家の中には「そもそもSOX法や内部統制制度は、監査法人と企業が一緒にならざるを得ない」と指摘している。

の不祥事対策のため、それなのに監査法人だけが「焼け太り」でひとりうまい汁を吸っているのはいかげなものか」と批判。かえす刀で「監査法人も会計不信を招いたことを反省すべきだ。監査法人自身も内部統制を厳格化し、同じ過ちを繰り返してはならない」と指摘している。

は、不正な売却益が暴力団へ流れた疑いが強いとみて調べている。イー社は臼井容疑者が1999年に設立した。「ニューリッチ」と呼ばれる新興富裕層を主な相手に情報提供などの事業を展開していた。資産家が対象読者という触れ込みの雑誌「S EVEN HILLS」も発行していた。

未公開株で不当な利益

「上場話」で資産家だます

イー・マーケティング社長ら逮捕

東京都港区の市場調査会社「イー・マーケティング」社、「イー社」の未公開株を巡り、「必ず上場するので値上がりは確実だ」と虚偽の上場話をもちかけて販売し不正な利益を得た、として

同社社長の臼井弘文容疑者ら6人が詐欺容疑で6月10日、逮捕された。逮捕したのは兵庫県警暴力団対策課。臼井容疑者のほかに逮捕されたのは、知人でコンサルタント会社

役員の高尾肇容疑者、金融会社元役員の小菅孝吉の両容疑者ら。容疑者らは、イー社が上場する予定がないのを承知してながら、1株当たり5万円の未公開株を5倍以上の28万円で売り付け、23万円の不当な利益を得ていた疑い。

直接の容疑は2007年5月ごろ、兵庫県内の80歳代男性に2株を56万円で販売した疑い。容疑者らは同様に、イー社の未公開株を高額の富裕層らを狙い、昨年1月までのほぼ1年間に約1000人へ売りつけて約22億円の不当な利益を得ていたとみられる。

同県警は、容疑者らはイー社のほか数社の未公開株

を手にしており、被害額は約150億円に達するのではないかとみて追及している。臼井容疑者らは容疑を否認しているという。手口は巧妙だ。臼井容疑者は、イー社が数年前から資金繰りが苦しくなったため未公開の自社株の販売を計画し、高尾容疑者に相談した。高尾容疑者は、ほかの容疑者らと謀って社外に「株式公開準備室」を設けた。

準備室には電話のオペレーターを振り込んでいた。同県警

は、イー社が数年前から資金繰りが苦しくなったため未公開の自社株の販売を計画し、高尾容疑者に相談した。高尾容疑者は、ほかの容疑者らと謀って社外に「株式公開準備室」を設けた。

準備室には電話のオペレーターを振り込んでいた。同県警

は、イー社が数年前から資金繰りが苦しくなったため未公開の自社株の販売を計画し、高尾容疑者に相談した。高尾容疑者は、ほかの容疑者らと謀って社外に「株式公開準備室」を設けた。

BERC入会の御案内

経営倫理実践研究センター(BERC)では、賛助会員の入会申し込みを受け付けています。

BERCは、我が国初の経営倫理の実践研究専門機関です。企業不祥事、不正の防止や企業の社会的責任を果たすため、理念普及、教育研修のノウハウ提供、実践活動研究グループへの参加、会員社間の交流と情報交換など幅広い活動を進めています。

▽年会費50万円
▽入会時に「経営倫理担当最高責任者」を登録していただきます。
申し込み・問い合わせは

経営倫理実践研究センター事務局へ。

電話 03(3222)1477
FAX 03(3222)1478



合いも農法による米の有機栽培の現場視察する
まちづくりパートナーら

東北電力の地域支援活動「まちづくり元気塾」が話題となっている。活動が発足して4年目、地域にしっかり根付いた、スケールの大きい社会貢献だ。
支援の対象は東北6県および新潟県の各地域で、地域づくりにつながる活動を行っている団体・組織。商店街組合、観光協会、住民グループなど。年間に3〜4団体が支援対象となる。
20年度の支援は、つがる市商工会(青森県)など4団体。19年度は岩泉まちづくり連合(岩手県)など4団体、18年度は小国町交流まちづくり研究会(山形県)など3団体。
活動の内容は地元食材を使ったレストラン、古民家を改造しての民宿づくり、温泉を活かした観光などさまざま。今まで埋もれていた地域資源に注目し、地域の再生活動に活かしている。

社会貢献活動の現場から

34

東北電力 「まちづくり元気塾」4年目 地域活性化をサポート

東北電力は各地域・団体のオリエンテーション支援活動の実施・報告会の開催という流れ。活動の中心となるのは「まちづくりパートナー」(2〜3名)で、地域づくり活動の専門家や実践者ら。年3回程度、支援先に派遣し、具体的に活動への助言・サポートを行う。
秋田県北秋田市根子集落は、かつて「マタギの里」といわれたが、過疎化や高齢化が進行し始めていた。チーフ・パートナー岡崎昌之は、現地で元気塾を開催し、検討を重ねた。その結果、同地区に残されていた「根子番楽」(国の重要無形民俗文化財)を中心に、改装した古民家での郷土料理づくりイベントなどが打ち出され今後の交流人口拡大に弾みがついた。
また、この支援活動で地域再生が大きく動き始めた。秋田県も同集落の活動を「農山村活力モデル事業」に指定、高く評価されているケースだ。
東北電力は本・支店をはじめ営業所の社員も支援事業に参加、協力している。時には土・日曜を返上して、現地で夜間に開催されるワークショップに参加するなど地域にとけ込んだ活動を続けている。
東北電力広報・地域交流部の横山保雄主任は「スタートして4年目になる活動ですが、まだ各地域に生まれた『点』の活動。この『点』を『線』に、『線』から『輪』に。さらに『輪』から『渦』へと拡大して、貢献を継続していきたい」と熱っぽく話している。

パブロ・カザルス(1876〜1973)とし、フランコ黙認の態度を変えず、絶望したカザルスは「フランコを支持する国では演奏しない」と宣言し、以後、演奏活動をやめてしまっただ。
カザルスにとつての「武器」は楽器で、平和を訴えるさいの音楽メッセージはいつも、自らが奏でる「鳥の歌」だった。
祖国スペインと故郷カタルーニャを愛したカザルスは、カタルーニャ地方に古くから伝わるク

「地球交差点」取材メモに残ることなど...
リスマスの祝い歌「鳥の歌」を編曲し、自らの「武器」とした。
スペイン内戦のあと、フランコ政権が誕生すると、政権に反対するカザルスは「自由な政府ができるまで祖国には帰らない」と、1939年、スペインとの国境に隣接する南フランス・プラードに亡命する。
亡命後の45年、英国のBBCを通じ、カタルーニャの同胞にメッセージを送る。そのさい「鳥の歌」を演奏しているが、この曲が一

地球交差点

取材メモに残ることなど...

< 8 >

カザルスと「鳥の歌」

平和のための「武器」



生家近くの公園に建つ、チェロを弾くカザルスの像。スペイン・ベンドレルで

たのが、プラード音楽祭だ。東西冷戦の時代、世が、核の脅威にさらされると、58年、友人のシユバイツァーと、核実験の禁止などを呼びかけている。
61年、米国のケネディ大統領からホワイトハウスに招待される。その時「鳥の歌」を演奏しているが、この曲が一

「最近どうもモレる」、老化による影響ですが「途切れる」、「急に行きたくなくて間に合わない」1つ目は膀胱の収縮が悪くなること。その結果、尿を出しにくくなり、勢いが加齢と共に増えてきまが加齢と共に増え、途中です。今回はちよつと大きな声で聞きにくい排尿感があるといったことが起こってきます。

「編集後記」...
◇BERCの第12回年次総会が、6月末、開かれた。活動報告などの審議に先立ち、福原義春理事長が開会挨拶。
この中で、特に次の点を強調した。コンプライアンス経営が広がりを見

40歳からのAge-less

ワンポイント②⑥ <膀胱>

膀胱は下腹部の恥骨のすぐ後ろにある筋肉製の袋。尿が溜まると風船のように膨らみ、通常200〜300ccぐらい溜まると排尿します。習慣でその量は個人差が大きいですが、その形や大きさに男女差はありません。
膀胱の働きは、尿を溜める「蓄尿」と、溜まった尿を押し出す「排尿」。排尿のメカニズムは、膀胱に一定量の尿が溜まると、膀胱内壁の神経が刺激を受け、その刺激が知覚神経から脊髄を通って脳へ。すると脳の前頭葉部分が排尿命令を出し、膀胱は収縮、尿道へと排尿がすすむ仕組みです。
そこで気になるのが、たことが起こってきます。
2つ目は、膀胱が敏感になる「過活動膀胱」。これは尿がいつぱいにならない途中で、膀胱が勝手に収縮してしまうこと。そのためトイレが近くなる、間に合わないといったことが起こってきます。
膀胱には尿道の老化もダブルで影響しますが、そのお話をまた...
医療福祉ジャーナリスト おちとよこ

読んでら 老けないコラム
欧米で大規模な疫学調査の結果、40歳以上の16%もが症状を訴え、適切な治療を受けられないでいることから疾患として定義され、研究が進みました。日本でも大規模調査が行われ、830万人もの該当者がいると分かっています。40歳から増加し、80歳では35%にも上っています。
高齢社会では、もはや排泄トラブルは当たり前。決して恥ずかしいことではありません。治療法も進歩し、大半が治るので、堂々と専門医にかかり、適切な対処法を選択する時代です。
もしも次のような点に心当たりがあれば、泌尿器専門医に胸を張って相談を。
□トイレや下着を下ろすまで待てずに尿がもれることある。
□排尿回数が多い(日中8回以上・夜間3回以上)
□いつもお腹に力を入れて排尿している。
□排尿途中で止まることがある。
排尿には尿道の老化もダブルで影響しますが、そのお話をまた...
医療福祉ジャーナリスト おちとよこ